

問題Ⅱ

[出題の意図]

「中国史」に関する議論を通じて、中国の古代から現代までの歴史事象について基本的な知識を有するかを問う。また、近代以降の歴史事象について、ヨーロッパや日本との関わりなどの広い視野から理解できているかを問う。さらに、資料の読解や歴史叙述の方法に関する議論を通じて、資料を的確に理解する能力ならびに歴史事象に関する論理的思考力の有無を問う。

[正解・解答例]

問1 (1) 康有為 戊戌の変法

(2) 義和団事件ののち、清朝は科挙の廃止や新学制の発布などの改革を行った。その結果、多くの留学生が日本へと赴き、新しい思想に触れるなかで、清朝の打倒を目指す革命運動が醸成された。1905年には東京で孫文を総理として中国同盟会が結成され、辛亥革命へと道を開いた。

問2 ランケ

問3 帝王の事跡

問4 国民意識をもった平等な市民が国家を構成するという理念

問5 漢書 班固

問6 資治通鑑 司馬光 編年体

問7 (1) 九品中正

(2) 香港 鄧小平

問8

問題Ⅲ

[出題の意図]

近世ヨーロッパの歴史にかかわる重要な諸史料を手がかりに、正確な歴史的知識を問うとともに、それらの知識を踏まえて論理的に叙述する能力をみる。

[正解・解答例]

問1 A : 3 B : 1 C : 5 D : 2 E : 4

問2 ① : E ② : D ③ : C ④ : B

問3 ミケランジェロ

問4 市民層の成長が不十分な地域で、君主の主導、専制のもとで啓蒙主義的改革をおこない、上からの近代化を進める体制であることなどを、簡潔に記述する。

問5 ウィリアム 3 世、メアリ 2 世

問6 新旧両宗派の対立と貴族間の争いによる宗教戦争、ユグノー戦争中に、パリで多数の新教徒が旧教徒に殺害された事件であり、新旧両派の対立が一層深まったことなどを、簡潔に記述する。

問7 [第一次] 囲い込み (エンクロージャー)

問題IV

[出題の意図]

東西冷戦の終了期における社会主義諸国の変容について、正しく理解しているかを問う。

挙げてある語句から、ソ連邦のほかにドイツ、ポーランド、ルーマニア、中国で1980年代以降に生じた社会主義体制からの脱却をめざす動きや、ソ連邦のペレストロイカやグラスノスチ、新ベオグラード宣言、新思考外交といった改革、冷戦終結を宣言したマルタ会談についても触れるとよい。字数に余裕があれば、チェコスロヴァキア、ユーゴスラヴィア、ヴェトナムなどほかの社会主義諸国の変容に言及してもよい。

[正解・解答例]

ポーランドでは政府に改革を求めた自主管理労組「連帯」が、複数政党制のもとで行なわれた選挙で圧勝し、連立政権を発足させた。ルーマニアでは反体制派の運動が勝利を収めた結果、独裁体制を敷いていたチャウシェスクが処刑された。東ドイツでは西側への脱出者が急増し、東西ドイツの自由往来が認められてベルリンの壁が崩壊し、ドイツ統一への道筋をつくった。ソ連邦では東欧諸国の民主化の動きに刺激され、各地で独立運動が始まった。1991年にはほとんどの共和国が連邦からの離脱を宣言したため、ロシアを中心とした独立国家共同体が結成され、ソ連邦は解体した。中国では経済の改革・開放を先行させる共産党政権に不満を持った学生たちが北京の天安門広場に集まって民主化を要求したが、武力で抑え込まれて民主化の動きは沈静化した。